

椿台春秋 満開の桜の下で

「初桜 折しもけふは 能日（よきひ）なり」（松尾芭蕉）。椿台カントリークラブのエン
トランスの枝垂れ桜が満開を迎えた。まだまだ気温が低かったり、風が強い日もあったりす
るが、春本番である。桜に誘われるように、満を持して多くのプレーヤーがラウンドを楽し
んでいる▼それにしても、北国秋田の桜の季節はどんどん早くなってきた気がしてならない。
かつて東京の入学式のニュースは「満開の桜の下、新しいランドセルを背負った1年生が緊
張の面持ちで入学式に臨んだ」が定番だった。その頃、秋田はまだ肌寒く桜前線ははるか南
にあり、秋田の入学式と桜は無縁だった。それが今では秋田の入学式も咲き始めた桜に囲ま
れてという時代になった。地球温暖化の影響であることは間違いない▼パッと咲いてパッと
散る。全力で咲いて、あっという間に散る。その一途さが私たちの心を揺さぶる。桜が多く
の日本人に愛される所以であろう。椿台の満開の桜を一人でも多くの人たちに愛でてほしい
▼そしてゴルフである。パッと咲いて、パッと散るわけにはいかない。プレーヤーは高い目
標と向上心を持ち、日々研鑽している。高齢のプレーヤーの方々は体力の維持も大きな課題
である。まだシーズンは始まったばかりである。年間のスケジュールを立てながら、それぞ
れのペースで椿台を訪れてほしい▼映画監督で、俳優でもあったチャーリー・チャップリン
さんは、ある記者会見で「あなたの作品の中で、何が傑作ですか」と聞かれ、「Next is best」
（この次が最高だ）と答えたそうです。なんだかゴルフにも通じる言葉である▼ラウンドを
重ねると、スコアのいい日も悪い日もある。それでも「Next is best」の心を持ち続ける限り、
ゴルフの神様はきっと微笑んでくれるはずである。